

環境対応型 アクリル樹脂系 ノンカットひび割れ補修工法

JKラビング工法

新しい
ひび割れ補修
優れた追従性



JKラビング 工法の用途

- ① 塗装下地のひび割れ補修
- ② タイルのひび割れ補修
- ③ コンクリート・モルタル塗り仕上げのひび割れ補修
- ④ その他、構造クラック以外のひび割れ補修

JKラビング 工法とは？

建物外壁のひび割れ補修として、ひび割れ部をU字形にカットしシール材を充填する工法が一般的に行われていますが、補修箇所の凹みや割れ・漏水等、経年による機能的・美観的な問題は避けられません。

JKラビング工法は、短繊維を混入した特殊アクリル樹脂を使用し、耐久性や美観性、またひび割れ追従性に優れた、全く新しいひび割れ補修工法です。



JKラビング 工法の特徴

- ① Uカットに比べて、補修跡が目立ちません。
- ② 作業中の騒音・粉塵が発生しません。
- ③ 施工性に優れ、工期短縮を図ることができます。
- ④ 補修箇所からの雨水等の浸入を防ぎます。
- ⑤ ひび割れに対して優れた追従性があります。
(ひび割れ追従性試験で約5mm)
- ⑥ 環境に配慮した水系材料です (JKラビング)。
- ⑦ 硬化後は透明で、タイル面にも使用できます。



JKラビング工法



Uカット工法

ひび割れ 追従性

材料名	強度	伸度
JKラビング	10.81N/mm ²	4.65mm
比較品 (JKラビング繊維なし)	5.00N/mm ²	2.53mm

テストスピード5mm/min
強度：最大荷量を断面積で割ったもの
伸度：塗膜破断時の伸び量



JKラビング 施工工程

作業手順 ひび割れの幅が... 0.2mm未満 → 0.2mm以上 →



JKラビング 工法の仕様

■標準仕様(0.2mm 未満)

	材料名	塗付け量	塗り回数	工程時間
1	JKシーラー	0.1~0.15kg/m ²	1	3~24h*
2	JKラビング	0.3~0.4kg/m ²	2	24~72h*
3	各種塗装仕上等	各製造所の仕様による	—	—

■注入仕様(0.2mm 以上)

	材料名	塗付け量	塗り回数	工程時間
1	JKシーラー	0.1~0.15kg/m ²	1	3~24h*
2	JKラビング①	ひび割れ注入	1~2	3~24h*
3	JKラビング②	0.3~0.4kg/m ²	2	24~72h*
4	各種塗装仕上等	各製造所の仕様による	—	—

*気象条件等による

JKラビング工法の性能

試験項目		試験結果	下地	試験条件等	
低温安定性		合格	—	かたまりなく均一	JIS A 6909建築用 仕上塗材の 試験方法に準拠
付着強さ(1) (N/mm ²)	標準状態	1.9	モルタル	0.7以上	
	浸水後	1.8		0.5以上	
付着強さ(2) (N/mm ²)	標準状態	2.0	タイル	—	
	浸水後	1.1			
温冷繰り返し作用に 対する抵抗性	(1)	異常なし	モルタル	ひび割れ・膨れ 剥がれなどがない	
	(2)	異常なし	タイル		
透水性(ml)		0	スレート	0.5以下	
促進耐候性	(1)	異常なし	スレート	変退色、著しい光沢低下がない	
	(2)	異常なし	タイル		
伸び率(%)		40	—	約1mm厚 テストスピード200mm/min.	JIS A 6021建築用 塗膜防水材の 試験方法に準拠
引張強度(N/mm ²)		13.8		テストスピード200mm/min.	
引裂強度(N/mm)		43.3		テストスピード200mm/min.	
ひび割れ追従性(mm)		4.7		スレート	

使用材料(荷姿)


製品名	容量・荷姿	備考
JKラビング	14 kg(石油缶) / 4 kg(ポリ容器) / 300g(カートリッジ)	
JKシーラー	基剤 13 kg(石油缶) / 硬化剤 1 kg(角缶)	14kgセット
	基剤 3.72 kg(角缶) / 硬化剤 0.28 kg(角缶)	4kgセット

※水性(水性JKシーラー)、塗装下地用(ユニバーサルJKシーラー)もございます。



施工上の注意事項

- (1) RC 躯体やモルタル・塗装・タイル張り仕上げ等のひび割れ補修を主目的とした工法です。構造補強を目的とした補修には不適です(要求性能によってUカットシーリング、自動低圧樹脂注入等の採用を検討してください)。
- (2) 下塗りには、下地・環境に合った JKラビング専用シーラーをご使用ください。
- (3) 塗装仕上げの場合、JKラビングの十分な硬化を確認の上、施工してください。溶剤系シーラーを使用する場合は注意が必要です(ユニバーサルJKシーラーを推奨します)。
- (4) ユニバーサル JKシーラーは、黄変する場合がありますのでクリアー仕上げには用いないで下さい。
- (5) タイル等に使用する場合は、必ず JKラビング専用トップコートを施工してください。トップコートがない場合、汚れ・紫外線劣化等により変色するおそれがあります。
- (6) 材料を取り扱う場合、手袋・マスク等の保護具を使用し、安全に留意して作業を行って下さい。
- (7) 密閉した場所では換気を十分に行ってください。
- (8) 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って洗い流して下さい。
目に入った場合は、水道水で15分以上洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- (9) 材料は、直射日光・降雨を避け、室内冷暗所に保管して下さい。
- (10) 可燃物のため、火気のそばには保管しないで下さい。
- (11) 水に濡れた面には、絶対に塗布しないで下さい。
- (12) 攪拌後、吹付け機器・ローラー等は施工部位等を考慮して、適切なものを使用して下さい。
- (13) 塗布後24時間は水が掛からないように養生して下さい。
- (14) この製品を取り扱う前に、必ず製品安全データシート(MSDS)をお読み下さい。

発売元  **日本樹脂施工協同組合**

〒110-0016 東京都台東区台東1-6-6 古茂田ビル
TEL.03-3831-6185 FAX.03-3831-3926
http://www.jkk.or.jp

製造所  **株式会社 セブンケミカル**

【埼玉事業所】東松山工業団地内
〒355-0812 埼玉県比企郡滑川町都25-43
TEL. 0493-56-3195(代) FAX. 0493-56-4238

【組合員】